

～ 運転時における視認性向上および安全性向上 ～ 保護メガネ(偏光レンズ)試験着用について

大阪モノレールでは、運転士の列車運行時の直射日光および反射光による、まぶしさの軽減を図ることで、視認性向上と疲労軽減を目的に、保護メガネ(偏光レンズ)の試験着用品を2025年6月1日(日)から実施いたします。

今回の試験着用期間を通じて、保護メガネ(偏光レンズ)の効果を検証し、本格導入までに、あらゆる課題についても検証してまいります。

1. 実施期間 2025年6月1日(日)から 約3ヵ月
(期間は、変更となる場合があります。)
2. 対象区間 大阪モノレール本線および彩都線
3. 検証内容 運転士に、色覚に影響を及ぼさない保護メガネ(偏光レンズ)を貸出し、運転中における前方確認時の視認性向上と疲労軽減による安全性向上を検証します。
4. 試験用保護メガネ(偏光レンズ) 株式会社タレックス製 (レンズカラー:トウルービュー®)
性能:①色覚に影響を及ぼさない(特許取得)
②疲労軽減(疲労軽減に関するエビデンス)
≫2010 John Wiley & Son A/S Photodermatology, Photoimmunology & Photomedicine 発表論文

以下3種類の保護メガネを試験着用します。



【保護メガネ着用イメージ】



【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、大阪府政記者会

【お問い合わせ】運輸部 運転保安課 友永・赤松

TEL.06-6875-3179 FAX.06-6319-9669